



公益社団法人 横浜歴史資産調査会 発行 日々の暮らしと横浜の歴史資産を一步近づける

ヨコハマヘリテイジ スタイル



旧湘南電気鉄道瀬戸変電所(現・京急)の勇姿

<ご挨拶>

会員の皆様、今年も当公益社団を支えてくださりありがとうございますとお礼申し上げます。

平成 25 年 4 月に内閣府認定の公益法人として認定されまして早くも 5 年を経過いたしました。この間、会員の皆様のご支援があつてこそ円滑な事業展開を進めて参ることが出来ました。

平成 30 年度の事業や予算は、さる 6 月 18 日に開催されました総会において決定いたしました。平成 30 年度は、公益法人として横浜市都市整備局都市デザイン室と両輪となって「歴史を生かしたまちづくり」を積極的に推進して参ります。内容は、歴史的建造物や土木遺産等に関する調査、保護、普及啓発、会員事業の 4 本の柱を立て、会員の皆様とともに事業を推進して参ります。特に、昨年度に「野毛都橋商店街ビル」を取得し、保存、管理、活用を行う実績をもとに歴史的建造物等の調査にとどまらず、新たな対象を取得し、保存する事業を行う予定であります。また、これに伴い、新たな募金キャンペーンやイベント等も企画いたしております。

どうぞ、会員皆様におかれましては、引き続きまた末永く、公益社団法人横浜歴史資産調査会（愛称・ヨコハマヘリテイジ）とともに手を取り合つて「歴史を生かしたまちづくり」を将来にわたり行って参りましょう。

格別の、ご支援、ご協力のほどなにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成 30 年 9 月吉日
公益社団法人横浜歴史資産調査会
会 長 宮村 忠

＜公益社団法人横浜歴史資産調査会 今年の仕事紹介＞



野毛都橋商店街ビル

平成 30 年度「今年の仕事」を紹介いたします

「歴史を生かしたまちづくり」を推進するために調査、保護、普及啓発、会員事業を着実にやって参ります。各事業は、受託と当公益社団独自の自主事業の2本立てです。また、対象は、「歴史を活かしたまちづくり相談室」に寄せられた県外の対象も含まれます。これらは、当公益社団が内閣府認定の公益法人格を取得していることから、守備範囲が全国であるからです。シルクロード関連事業も貿易港として繁栄した横浜を中心に絹文化を育てて来た全国の養蚕の街との連携が礎となっています。調査にとどまらず、対象の取得保存を含め、会員の皆様と力を合わせて事業を行いますのでよろしくお願いいたします。

(1) 調査事業

◎受託調査

① 歴史的建造物保全・活用計画関連調査

歴史的建造物を保全、活用するため、横浜市都市整備局からの受託事業として歴史的建造物保全活用計画関連調査を実施します。この調査は、所有者へのヒアリング、歴史的建造物に関する文献調査、写真撮影、現地確認、地図へプロットする方法により実施し、調査結果を当公益社団の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり」の内容検討に活用するとともに、具体的な歴史的建造物の保全・活用における方針の策定や課題等を整理します。

◎自主調査

① 横浜市内等の古民家調査

市内等の茅葺民家（鉄板覆含む）、近代和風住宅他の現況調査を行います。

この成果を活用し、ヨコハマヘリテイジブックレット3『生きている古民家』を発行配布いたします。

② 建築家 J.H. モーガン自邸の復元再生事業の推進（藤沢市）

火災により焼失した建築家 J.H. モーガンの自邸の復元再建を目的に「旧モーガン邸復元再生委員会」を設け、復元再生調査報告書に基づき保全に向けた調査等を推進いたします。

③ 旧倉石忠雄家住宅の現況調査（長野県千曲市稲荷山・国重要伝統的建造物群保存地区）

稲荷山地区は、信州の絹文化の交流拠点としてまた、横浜と絹を介した交易で繁栄しました。現在でも約650mに及ぶ歴史的町並みには反物や生糸関連の土蔵造り商家が軒を連ね当時の賑わいを偲ぶことができます。「旧倉石忠雄家旧宅」は、生糸商として知られ労働大臣や農林大臣を歴任された倉石忠雄氏の生家で伝統的建造物に指定されています。地元の千曲市や稲荷山の町並みを守る会と力を合わせて復元や活用に向けた調査を行います。

④ 細野燕台家住宅の茶室 現況調査（鎌倉市）

相談室案件の対象です。細野燕台氏は北大路魯山人の古陶磁器や茶道の師匠です。その縁もあって大正期に金沢市から鎌倉市に移り住みました。細野氏は、北鎌倉で茶の湯文化を広め、その拠点が現在の細野家住宅の二つの茶室です。燕台と魯山人が築いた文化は遺産となり鎌倉の歴史的景観に潤いを与えています。当公益社団と鎌倉市と協働で同茶室の保全に向けた調査を行います。

(2) 保護事業（自主事業）

歴史的資産を保全し、維持し続けることは、当該歴史的資産の所有者等にとって大きな負担となるとともに、維持に関する専門的知見が求められます。このため、当公益社団で行っている相談室の結果を踏まえ、保全が必要とされる歴史的建造物等には、支援体制を整えます。さらに、保護事業対象として位置付けて選定し、当該歴史的資産の保全、活用、取得、管理、維持への取組に積極的に参画します。

① 「野毛都橋商店街ビル」の保全・管理

当公益社団の保護資産第一号として保全・管理を推進します。また、「野毛都橋商店街保全・管理委員会」を設け、建物の保全・管理・活用計画を検討します。

② 「旧湘南電鉄瀬戸変電所」の保全・管理

湘南電気鉄道創業時（昭和5年）の歴史的建造物で京急電鉄（株）から建物の寄贈を受けるため耐震補修事業計画を作成します。また、「旧湘南電鉄瀬戸変電所保全・管理委員会」を設け、建物の保全・管理・活用計画を検討します。



横浜市認定歴史的建造物「新川邸」（旭区）



千曲市稲荷山の旧倉石忠雄家住宅



野毛都橋商店街ビル



旧瀬戸変電所の耐震調査の様子

③「建築家 J.H. 旧モーガン邸の自邸」の復元再生事業の推進

火災で焼失した J.H. モーガン自邸の復元再生調査報告書（平成 29 年度実施）に基づき、事業を推進します。また、このための「復元再生委員会」設け復元再生、保全、管理、活用計画を検討します。



不審火で焼け落ちた旧モーガン邸（藤沢市）
写真 佐藤理沙さん

(3) 普及啓発事業

◎受託事業

歴史的資産に関する専門家の育成やまちづくりに関する市民の理解を深めるために横浜市都市整備局からの受託事業として実施します。

- ①「歴史を生かしたまちづくりセミナー Vol.41」を開催します。（平成 30 年 7 月 15 日開催）
- ②『歴史を生かしたまちづくり横浜新聞』第 34 号を発行します。（平成 30 年 11 月 30 日発行予定）

◎自主事業

- ①ヘリテイジセミナー、シンポジウム、見学会を開催します。
- ②ヨコハマヘリテイジブックレット3『生きている古民家』を発行します。
- ③「シルクロードネットワーク・鶴岡フォーラム」の開催（平成 30 年 6 月 23 日～ 24 日開催）

横浜に繁栄をもたらせた絹産業に関連の深い関東甲信越、東北各地の市町村と連携し絹文化の啓発、保全、活用をテーマとして鶴岡市（山形県）でシルクロードネットワークの事務局として鶴岡市、群馬県 NPO「RAC」等と連携して開催します。横浜市、新庄市、福島市に続き鶴岡市での開催は 4 回目となります。

- ④コンサート in ヘリテイジ『ピアノが案内する横浜の歴史とまち Vol.7』の開催
横浜山手芸術祭の一環としてピアノコンサートを横浜市イギリス館で開催します。（平成 31 年 1 月 30 日開催予定）



旧細野燕台家住宅の茶室（鎌倉市）

(4) 会員事業（自主事業）

当調査会の事業への継続的な支援を確保するために、ヨコハマヘリテイジサポートクラブ会員の募集と合わせて幅広く会員ボランティアによるサークル活動等を推進します。

- ①『ヨコハマヘリテイジスタイル』を発行します。
- ②ホームページを充実します。

(5) 「歴史を生かしたまちづくり相談室」の運営

横浜市内や神奈川県内外等には多くの歴史的建造物等の歴史的資産が数多く存在しています。時代と共に取り壊される運命にある対象も年々増えています。しかし、これらの歴史的建造物は、一度壊してしまうと元には戻せません。また、歴史的建造物の老朽化、居住性の低下、修理費、固定資産税や相続税等が障害となり、保全・活用を行いたくても出来ないで悩んでいる方が多くいらっしゃいます。

そこで、「歴史を生かしたまちづくり相談室」を設け、様々な相談に即対応し、瞬時に調査、保全の提案、修理、住まい手紹介、取得等の有効な手当を行うことが必要とされているのです。将来にわたる「歴史を生かしたまちづくり」に大切な歴史・文化資源を確保することを目的に運営に力を注ぎます。

（常務理事 米山淳一）

歴史を生かしたまちづくり相談室のご案内

横浜歴史資産調査会では、横浜市と連携し、歴史的建造物の保全活用など歴史を生かしたまちづくりに取り組んでおります。

近年、歴史的建造物を取り巻く状況は大きく変化し、所有者の抱える悩みも複雑化・深刻化してきています。こうした状況を少しでも打開すべく、歴史的建造物所有者等を対象に、専門家や関係団体、行政が連携して具体的な対応策について提案していきたいと考え、まちづくり相談室を開設致しております。相談は無料で、どなたでもお申込みいただけますのでお気軽にどうぞ！

ご相談内容の送付は、公益社団法人横浜歴史資産調査会内「歴史を生かしたまちづくり相談室」係まで

相談方法については、ヨコハマヘリテイジのホームページに直接入力または相談シートに必要事項をご記入し、郵送、e-mail、ファクシミリ等でお申込み下さい。電話・FAX（045-651-1730）による相談も可（毎週水曜日）

相談内容例としては、自宅の歴史的価値の有無を調べてほしいとか、建物は残したいが相続の関係で持ち続けることが困難なので良い方法がないか？とか、歴史的建造物の改修を任せられる腕のいい職人を教えてほしい、など歴史的建造物に関わるものであればどのようなことでも OK です。

ご相談の対応については、専門家、ヘリテイジ職員、横浜市都市デザイン室職員等が相談内容を検討し、応じることとしています。必要に応じて現地確認や詳細のヒアリング、アドバイザー派遣等をする場合もあります。

送付先 〒231-0012 横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル 405 号室
電話・FAX 045-651-1730
Eメール yh-info@yokohama-heritage.or.jp

ヘリテイジにご寄付を！

ヨコハマヘリテイジでは、横浜をはじめとした国内の歴史的資産の保存活用に向けて、皆様のご寄付をお願いしております。各地に眠っている歴史的資産を地域の宝、日本の宝、世界の宝として、将来に渡り受け継いでいくために、皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

ご寄付を頂いた方には、個人の皆様には所得税等の控除に使える免税証明書、法人の皆様には法人税の控除に使える税額控除証明書を発行致します。また、金額に応じた記念品等の贈呈も行っております。

【2018 年度 賛助会員・団体会員の皆様】

いつもご支援をありがとうございます

公益財団法人まぎん産業文化振興財団、相鉄企業株式会社、株式会社三陽物産、株式会社 NENGO、NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ、NPO 法人横浜シティガイド協会、横浜市大倉山記念館、株式会社 JTB 横浜支店

ヨコハマヘリテイジは免税団体です

歴史的資産の保存活用を推進するために、皆様のご寄付をお願いしております。ご寄付を頂いた方には、免税証明証を発行いたします。確定申告の際に控除となります。

2018年のシルクロードネットワークフォーラムを鶴岡市で開催



松ヶ丘開墾場で記念撮影

主催：公益社団法人横浜歴史資産調査会、RAC（NPO 法人街・建築・文化再生集団）
共催：鶴岡市、後援：山形県、群馬県、（一財）大日本蚕糸会、上毛新聞社

<内容>

23日（土）見学会＝鶴岡まちなかキネマ（絹織物工場を再利用した映画館）→「松ヶ丘開墾場」→丙甲堂（豪商・国重要文化財）→致道博物館（茅葺・旧渋谷家住宅、旧鶴岡警察署）→交流会

24日（日）フォーラム 鶴岡市先端研究産業支援センターレクチャーホール

挨拶 米山淳一（当公益社団常務理事、RAC 理事）

来賓挨拶 皆川治氏（鶴岡市長）

基調講演（1）「歴史まちづくりの取り組みを通じた地域活性化」

富所弘充氏（国土交通省都市局公園緑地景観歴史文化環境整備室課長補佐）

* 歴史まちづくり法に基づく歴史的風致の維持・向上事業の紹介

基調講演（2）「歴史文化を活かしたまちづくり－文化財行政の役割－」

梅津章子氏（文化庁文化財部参事官付文化財調査官）

* 文化財保護法改正に伴う地方行政、市民活動の新たな取り組みを紹介

基調報告（1）「鶴岡の絹－松ヶ丘開墾場から現在まで－」

田中尹氏（元鶴岡織物工業協同組合理事長・元松岡蚕種（株）社長）

* 鶴岡の絹の歴史と文化の流れと地場産業としての位置づけを紹介

基調報告（2）「鶴岡まちなかキネマ・木造絹織物工場を映画館に」

高谷時彦氏（東北公益文化大学大学院特任教授・建築家）

* 廃墟になった絹織物工場の再生と地域活性化の効力を紹介

事例報告 地域の絹遺産の活用とこれから

鶴岡市、新庄市、福島市、千曲市、川越市、埼玉県小川町、日野市、横浜市、前橋市からの皆様にご登壇

コーディネーター：後藤 治（工学院大学理事長）、米山淳一

* 各地で絹遺産の保全に取り組んでいる皆様からの報告とシンポジウム

鶴岡市は、女子高生が絹文化を継承の大切さをアピール。横浜市は、公益社団法人横浜市緑の協会が絹貿易の拠点である横浜の関連遺産を紹介。日野市は蚕糸試験場を市で保存のために取得と様々。

最後に将来にわたり絹文化の継承と保全を力強く進めることでお開きとなった。

（常務理事 米山淳一）

当公益社団が中心になって絹の歴史と文化を守り育てる街や有志が集うシルクロードネットワークは横浜市から始まり、新庄市（山形県）、福島市そして鶴岡市（山形県）で4回目を迎えた。

今年の開催都市の鶴岡市は「サムライシルク」として日本遺産に認定され、市を挙げて絹の歴史と文化の育成と保全、さらにこれらを活かした観光振興を行っている。特に廃藩置県により職を失った庄内藩士らが刀を鋏に替えて開墾した松ヶ丘開墾場は、新たな生活の糧を求めた養蚕の拠点として繁栄。近年、場内の養蚕関連施設は、国重要文化財に指定された。今年、6月23日（土）、24日（日）の両日は晴天に恵まれ、絹文化保全の先進地として全国から約60名が参加し、有意義なフォーラム開催となった。



市民で賑わうまちなかキネマ



講演する富所さん



シンポジウムでのシルクの町からの皆様

【ヨコハマヘリテイジスタイル2018夏号】平成30年9月30日 発行

公益社団法人横浜歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）〒231-0012横浜市中区相生町3-61 泰生ビル405号

Tel:045-651-1730 mail:yh-info@yokohama-heritage.or.jp